



記者発表日 平成28年11月14日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

中国建設新技術レビュー第2号を発行します

本紙創刊から3ヶ月が経過し、今般お届けする第2号は2つの新企画が登場し、内容強化で増頁しました。今後も行政と施工者や開発者を繋ぐ建設新技術に関する情報を提供していきます。是非とも御一読下さい。

中国地方整備局管内の直轄工事における新技術の活用率（新技術を活用した工事件数を総工事件数で除したもの）は49.3%で、全国の国土交通省直轄工事の44.5%に対し上回りましたが、更なる新技術の普及を図るためには、行政／施工者／新技術開発者の三位一体となった継続的な取り組みが必要であり、本紙はその活動を支える情報源となり得るものとして鋭意発行しています。

本号では、新企画として「新規に登録された新技術」、「新技術活用と防災技術の接点」を加え、新技術活用ランキングの紹介、上位ランキング技術の解説、管内各事務(管理)所の新技術の活用状況、i-Construction 連載講座、新技術を活用した現場の取材レポート等を内容を充実させ増載しています。また、10月より中国各県の産学官により開催されている「中国地方建設技術開発交流会」の開催状況などを紹介しています。

今後も、建設新技術の利活用に対する現場の新しい情報を伝えることによって、新技術の導入や普及を応援し、建設事業の生産性向上に繋がるように情報を発信していきます。

■公開方法：中国技術事務所ホームページ

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/topics/review/>) (PDF 電子版 A4 縦)

中国技術事務所及び管内各事務(管理)所 新技術担当窓口 (誌面版 A4 縦)

■発刊時期：第2号 (vol.2) 平成28年11月20日

■備考：本誌の内容について取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。(紙面構成は12頁より15頁へ増頁。配布無料。)

問 合 せ 先



国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

総括技術情報管理官 森 山 博 (全般について)

建設専門官 岡 本 伸 城 (新技術普及促進制度等について)

住 所： 広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話： 082-822-2340 (代表)

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

| 中国建設新技術レビュー | | | |
|-------------|---|---|--------------------|
| 第2号ひとこと解説 | | | |
| No | 記事名 | 内容 | 備考 (第1号) |
| 1 | 巻頭言 | 建設産業の変革は新技術の活用で (技術調整管理官 猪森 正一) | (企画部長 吉田 敏晴) |
| 2 | 全国における 新技術活用ランキング(平成27年度) | 工事仮設物及びコンクリートの品質向上に 係る技術が上位。 | (中国地方ランキング) |
| 3 | 中国地方整備局における 新技術活用の進捗状況 (平成28年4月～9月) | 9月期は、15事務所163現場で活用、7月 期(9事務所26現場)と比べ大幅な増加。 | (4月～7月) |
| 4 | 中国ランキング上位技術の概要 ディスプレイ(CR,ER,DV,DV-S) | コンクリート打設後の打継目処理の作業時 間の効率化を実現する技術。 | (アクアマットSタイプ) |
| 5 | 新規に登録された新技術 中国地方整備局登録 (平成28年度前期) | コンクリート舗装の施工工程短縮に効果を 発揮する「連続鉄筋コンクリート舗装用斜交 メッシュパネル」をはじめ7技術。 | 新企画 |
| 6 | 新技術活用評価会議便り (平成28年度第2回) | 道路維持修繕に係る6技術をはじめ全9技 術を評価。 | (第1回評価会議 全8技術) |
| 7 | シリーズ i-Construction ②ICT土工 | 3次元設計データを活用したICT土工をICT 建設機械(ブルドーザ、バックホウ、ロー ラー)と共に紹介。 | (i-Construction概要) |
| 8 | 新技術活用現場レポート 環境配慮型濁水処理フィルター工法 | 天然ヤシ繊維を用いた濁水処理技術、濁 度の低減及びpH処理について高い評価。 | (ハイパーネット60) |
| 9 | 中国地方建設技術開発交流会を 実施しました。 | 山口県、島根県、広島県の産業界、大学等 研究機関、官公庁から25件の研究成果の 発表 | |
| 10 | 推奨技術・準推奨技術の活用 | 推奨技術・準推奨技術の解説と平成28年 度に選定された技術の紹介 | |
| 11 | 新技術活用と防災技術の接点 | 災害時に活用される技術の概要と水防工 法の中から新技術を紹介 | 新企画 |